

令和元年度第1回 第三吾嬬小学校 校長「語らいサロン」  
テーマ『これからのPTA活動について』

令和元年5月18日(土) 9:00-10:05 応接室にて

参加者 保護者14名

(実際のお話を要約して半分くらいにまとめています。)

**川中子:** 今日「これからのPTA活動について」考えるというテーマでお話をしたいと思います。まず、なぜこのテーマにしたかというお話をすると、昨年度12月にとらせていただいた学校評価の保護者アンケートに、PTA活動や子ども会についてのご意見がいくつか寄せられました。いくつか紹介させていただきます。「地域とのつながりがとても強く助かっている。しかし、地域への協力が難しい。」「PTA、子ども会、さんあづフェスタなど、保護者が参加する機会が多すぎる。」「地域のイベントが多すぎて、手伝いや役員決めに負担を感じる。」「登校班の当番に負担を感じる。」「PTA、子ども会に拘束されていることに恐怖を感じている。」「PTAはできるときに、できる人を集めればいいのか。できる範囲で協力をしたいと思っている。」「お餅つき大会、親が仕事、子供が土曜授業で、このような行事があると家族の時間が減ってしまう。」

ちょうど時代も変わり、私も着任して2年目になり、昨年度1年学校の様子もよく見た上で、もし皆さんの中に先ほど紹介したような声があるのだったら、何か考えて、少しでも改善していける方法はないかなと思って、PTA会長の乗原さんとも昨年度末あたりからずっとその話をしています。まず、役員の経験、PTAの経験はされていますか？やってみて、いかがですか。

**Aさん:** 一言で言えば「大変」です。入ってみて、初めて、学校はこんなに大変なんだ、と感じています。

**川中子:** そうですね。ああ、こんなに大変なことを誰かがやっていたんだ、というの、やってみないとわかりませんね。

**Bさん:** 私は、昨年からPTAの副会長をやらせてもらっているんですが、今年度で2年目です。私も自分から立候補したわけではなくて、地区から選考する際に、誰も立候補者がいなくて、くじ引きという形で、まあ当たった、という感じで就任したんですね。いろいろ自分の中の生活のリズムがあって、そんな中に役員の仕事が入ってくる。自分の思い描いていたことと違うことが入ってくると言うことで、皆さん戸惑ってしまうという感じじゃないでしょうか。私も実際そうでした。

昨年1年経験してみて、私は運動会係とさんあづフェスタの実行委員長などやってみると、やはり受付をされる方も必要だし、それぞれ来賓の方の接待も必要だし、そういう必要な部分をPTAがカバーしていくんです。やはり入ってみると、そういうのがやはり必要だと言うことが見えてくるんですね。今までやってきた流れでそういうものがあると思うんですが、ちょっとでも何か違った形で変えられるのであれば、変えていった方が、私ももう少しハードルが低くなってきて、負担、というと語弊があるかもしれないけれど、軽減された形で仕事分担できたりしないかな。

**川中子:** どうもありがとうございます。PTAの中でも、本部役員さんというのはまた、特別なお仕事もあるんじゃないかなと思うんですけど。

**Cさん:** 私自身は、うちの主人が長男の時に子ども会の地区長をする機会がありまして、学校の役員や子ども会の役員というのは、家族の理解と協力がとても大事なんじゃないかなと思ってんですね。主人が地区長になったとき、それまで女性地区長が続いていたんですが、子ども会の役員さんというのは、学校以上に地域の町会の役員さんたちとの関わりがすごく強くて、特に地区長さんは町会の方とのやりとりもすごく多いんですね。町会で飲み会に行きましょうというのがあったら、参加しない訳にはいなくなって。女性の方もやっていたので、そういうのにしょっちゅう参加しなければならぬので、旦那さんから、奥さんが家をしょっちゅう空けてしまうことに対しての話があったので。うちは、もともと飲む人だったので、飲み会に参加するのは私ももともとぜんぜん平気で問題なかったんですけど。そう言うのを、よく思わない奥さんもいるという話を聞いたんですね。

でも一つ私は、すごくやってもらってよかったなと思ったことは、主人を通して、うちの家族の名前を覚えてもらえるんですね。町会の会長さんとか副会長さんレベルの方がみなさん覚えてくださっていて、未だにご挨拶をしてくれたりとか、そういうつきあいがとれるので、すごく防犯とか、子供を守るという意味で。親は大変なんですけれど、子供をみんなに知ってもらって、子供の親が自分であるということも知ってもらえて、子供の防犯にすごく役に立つのかなと思いました。

**川中子:** この地域独特の雰囲気もあるのかなと思います。今の町会の話なんかは、下町の独特のものがありますね。ほか、いかがですか。

**Fさん:** 私は、去年と今年、校外ですけど、PTA自体は、1年生で入る時、正直言って「6年間に1回はやれ」とか、「どんな事情も考慮しません」み

たいな話を書いてあって、どんだけブラックなんだ、ってすごく思いました。子ども会の、前に役員をやっていた方の話を聞く機会があったんですけど、「神の試練か？」というくらいだった、とおっしゃっていて。そんな思いをしなきゃいけないというのは、本来であれば、ボランティアなので、できる人ができる範囲でやるというべきことが、なんか、やって当然のようなことになってしまっているのは、なんかならないものかなとすごく思っています。何一つやりたくない、という人はほとんどいなくて、みんな何かしら手伝いはしたいという気持ちはあると思うんですけど、それでもこうやって決まっているから、だれかやってくださいみたいな、やるのが前提で。防犯がとか、そういう意味で、できるのであればやられた方がもちろんいいとは思いますが、やりたいとかやられた方がいい、ということと、じゃあ、できるのかというのはまた別の話だと思うんです。でも、やった方がいい、だから全員やりなさい、というのが今の状態だと思うんですね。だから、本当にやらざるを得ないものがあるんだとしたら、それに何人必要なので、という風にきちんと事情を説明して、募集してほしい。何をやるのかも全然わからないまま、手を上げろと言われても、何にもわからない、判断基準もないから手も上げられない。実際にやってみたら、そんなに難しい話もなくて、学校のお手伝いくらいだけだったので。見回りとか。実情を知ってれば、私はまあ、来年もやってもいいかなという感じで、私は今年もやらせていただいているんですけど。「できない人が、苦しくないPTA」みたいなのであってほしいなと……。

**Gさん:** 私は南地区にいて、親和地区に引っ越して、立候補も誰もいないし、学区外だから副会長しかやることなく、まあ大丈夫だろうと思って、まあ、親和地区の人にどんどん顔をアピールして、子供たちもお世話になろうと入ってみたら、やっぱり大変だったんですね。そのとき、お母さんたちに役員の仕事を知らせるときに、どんな仕事をするのだろうかというマニュアルを作って配布したのです。それを引き継ぐためにデータを残してやっていたんですけど。最近、役決めの前にその2枚セットがこないなあと思っていた。

本当にどんだけ改善したいことがいっぱいあったんです。でも、PTA本部が会議で承認して、それで、こうやりましょうねって形じゃないと下ろせない。細かいこともきつといえないし、質問もしたいって言う矛盾があるのに、答えられないって言うことがすごくあったときに、ちょうどテレビでニュースでやってたのが、どこかの区ではPTA行事はもう業者に任せてるんですよ。私、これやってもらいたい！ってずっと思っています。

間違っちゃいけないのは、地域の町会活動とかは本当に大事なんですよ。助けてくれるんですよ。それはいやだと言う人もいるんだけど、でもちょっと一歩踏み込んでみようよって。次、自分たちに得があるんだよってことを知ってもらいたいなってことで、自分も学区外だけれど、町会のことには参加しようということをやった。ちょっとつらかったこともあるんだけど、私にとってはこの2年間で、今の仕事にも本当に生かされているし、なんか楽しくやれなくなってきた。やだやだって思いながらやってみようのはいやだなんてずっと2年間思っていたので、そこが何とかならないかなって思ってます。

**川中子:** その、業者に任せるって言うのは、私も聞いたことがなかったんですが。

**Gさん:** 5年くらい前のニュースなんですよ。世田谷区かな、杉並区かで。運動会だったら、何人いるんですね、って。こういう役には、こうだからとか。そうすると、クラス委員とかも必要なくなって。

**川中子:** そうですね。まあ、PTAの活動の中身っていうのも、なんとなく今までやっているからやるとか、運動会の準備はこう、ということは決まっていますよね。確かに、それがないと学校の先生だけではやりきれない部分があるので、ものすごい混乱が生じる可能性がある。確かに、PTAの人じゃなくてもできる仕事というのはあると思うし、どういう風にやったらその仕事もうまくできるようになるのかもう1回考え直す必要があるとは思いますが。

今までの話を伺っていて、確かに、何をやるのかもわからないことをやってくれと言われても、やる側にとっては負担だし、みんな役員を決める保護者会の日には行きたくないとか。それは今始まったことではなく、ずーっと前から、そうだったと思うんですよ。ただ、社会は今、ものすごく変化していますので、いろんな価値観とかも広がってきていますから、いろんな考え方の方がいろんなことをいえるような時代になってきましたね。これは、混乱も生じていますけど、とてもいい傾向なんだろうなと。昔は、ある一部の人の声だけが通って、みんな嫌々ながらも従うしかなかったのが、今本当に小さな声をSNSなどを使って世の中に訴えることができるようになっていて、そこから賛同する人がふえていく。そういうのを考えると、PTAの活動そのものも、こう……「この指止まれ方式」っていう考え方があるんですけど、「こういうのがあるんだけど、やってくれる人いない？この指止まれ」って感じて「私できるよ」「やってみよう！」っていう人が集まって。この指止まれ方式は、みんな自主的に参加してく

れるやり方なので、こんなことしたいなんていうアイディアもよく出るやり方で、楽しくできるっていうのがあります。でも、考える人は必要で、それを集約できる人がいるといいのかな。そのアイディアの中に、もしかしたら、新しい PTA 活動というのが、その方向性が見えてくるのかなと思っています。ただ、たとえば三吾小の PTA っていうのは、三吾小の PTA だけではないっていう性格もありまして、それは各町会との関係があったり、他校の PTA との関係があったり。いろんな気がつかないところでつながりがあって、たとえば、墨田区にも PTA 連合会というのがあるって、そこの中で話し合いをしてくださって、そこで行われていることで三吾小も恩恵に預かっているという部分もあります。P 連のかたが、区役所の方と話してくれたり、業者と話し合ってくれたりしてくれていて助かっている部分もあって、単純に「やめた！」と言えないこともあります。

**Cさん：** 私もずっと働いて4人子育てしながら、三吾に歴代ですと来ているんですけど。10年以上前の頃は、できる人に呼びかけていたこともあったんですね。下の子がいる、まだ未就学児の子がいるとか、妊婦さんだったりして、その人たちをよけて、外国の方で日本語があまり堪能でない人とかもよけて、そうしてできる人、という風に考えると、同じ人の繰り返しになっちゃうんですよ。共働きで遅くまで働いていると無理ですってなっちゃうと、本当に専業主婦の方ですとか、自営業の方ですとかって。で、一部の人に回ってしまうので、今は外国の方も一律日本語がある程度わかれば、やってもらうってことになって。ただ、募集するときに、仕事でも、経験者を優遇しますとか、経験者の方大歓迎ですなんて書いてあると、そう言うまとめたり、計画したりするのが好きな方って言うのもいらっしゃるんで、ぜひそう言う方は優遇します、と。それ以外に、経験がない人は申し訳ないが、平等にさせていただきたいのでやってない方から優先してやってもらいますみたいな、一言があれば……。そういうやりたくなる誘い文句みたいなものがあると、じゃあやろうかしらって、やってくださる方にはみんなも感謝で、ありがとで引き受けていただくっていうのが一番。何でもその、政治もそうですけど、開けた社会にしなければならぬので、そう言う意味でいろんな人に関わってもらうっていうのが大事なことだということも一つあると思うんですけど、それで負担は絶対多いので、そういう働きかけをして、来てくれるものはウエルカムで受け入れて、そうでない場合は、ごめんねって感じでできる範囲で引き受けてもらうという形を。

あと、もう一つ、寺中で前の PTA 会長さんの時に、広報部を廃止したんですね、PTA 会長の働きで。一つ役員が減ったので、それだけでも PTA 活動の、縮小というわけではないんですが、みんなにとって本当に必要なものを残して、そうじゃないものは廃止しようということになって、PTA 全体の集まりも4月と3月の2回だけにして、後は各係での集まりはあっても全体の集まりは必要ないでしょうということ廃止してしまって、みんなが快く参加できるように、負担がないように、極力必要のないものは PTA 本部と先生方と話合っってどんどん廃止してって言う形をとったんですね。ぜひ本部の役員さんじゃないとわからないと思うので、先生方と役員さんとで、必要なものは残した方がいいし、もういいというものを削減すると、また変わるかなと。もっと積極的に参加できるようになるかなと思うので、ぜひよろしくお願いします。

**Gさん：** あ、さっき言った係の仕事の書いてあるセットは、ちゃんと配られてますね。

**Fさん：** 何をやりまして、行事名は書いてあるんですけど、その行事が……。

**Gさん：** それは質問してもらわないと困りますね。

**Fさん：** 質問をできる雰囲気か……。

**Gさん：** それって、学年の友達に聞くとか、誰かに言うとかしかならないですかね。

**Iさん：** みなさん、いろんな意見があって、経験者の方もたくさんいらっしゃるんで。私は今年は子ども会の班長と、今回教養部の部長というのがくじで当たってしまって、両方やらなくてはならなくなって。ただ、これは子供のためなので、やらなくちゃいけないっていうのが私はそう思っているんです。どんな事情であれ。正直、各家庭それぞれ違うんですけど、それはそれぞれの家庭の事情なので、仕様が無いことだと思うんですよ。あまりにもみんな初めての人が多いんですよ。で、何をやっていいのかわからないのも、それも私、自分の勉強というか、自分のやらなくちゃいけない仕事だと思っているので、必死で、書かれてなくても、誰かに連絡するという風に、今必死で動いているという状況です。自分で与えられた仕事なので、わかんなかったら、どういつてを伝えても知らなくちゃいけないのが仕事だと思うので、そこはもう子供がいよいよが……。

**Fさん：** それでも、当たった人が、やろうって思う段階ってあるじゃないですか。1年生の時って、何もわからない状態だから、何を質問していいのかもわからないんですよ。

**Gさん：** 今、こうして聞いて見ると、やっぱり聞く人が必要ってことですよ。やっぱり、地域につながっていると聞ける人もいるってことですよ。

**川中子：** 「相談役」って方は、いっぱいいらっしゃるんですけどね。

**皆さん：** 接点がない！

**Gさん：** 相談役に連絡できるかどうかっていうのが、自分自身の問題であるのなら、やはり自発的に縁をつくらないと。私が本部になったときには、わかってない人がわかるようになるにはどうやったらいいんだろうっていうのは、すごく気持ちもわかるし、結果ならないのはやっぱりつらいと思いますよね。

**Bさん：** 今日は、会長が所用で来られなかったんですが、乗原会長はすごく改革を目指していて、PTA になるのに、皆さん見えないからこそ不安になるということで、いろんな活動だったり、写真に撮ってスライドショーでみてもらうっていう機会を保護者会なり何なりで作りたいねっていったんですね。そういう話は今出ているので、検討しているところです。それから、先程、やりたい方がやる、っていうのは、やっぱり本部もみんなそう思っているんですね。でもやはり、出てこないんです。立候補者が。やはり皆さん忙しい中、それぞれ家庭がある事情の中で、やってるからこそ、やってない人の中からお願いしたいっていうのが出てくるそうなんです。で、その、ブラック的な文言もあったんですけど、それも議論になったんです、本部でも。乗原会長は「そういう書き方したくない」というお考えなので。でも、長く会長やってる方がおっしゃるには、どうしてもこういう書き方をしないと、「そんなことどこにも書いてなかったらう！」って、今までそういうトラブルがたくさんあったんだそうですね。だからそういう、ブラック的な書き方をしないとあとあと言われちゃうっていう出来事があったそうなんです。だから、そういう歴史があって今があるそうなので、だけどやっぱり乗原会長は、自分はこの書き方はいやだと言っていて、今年はこの書き方はちょっと柔らかくなったはずなんです。微妙に変えたんです。

それでやっとその本部の中でも議論があって。それで今本部もちょうど改革に向けて動き出しているところなので、すごく今日は貴重な意見がたくさん聞けたなあと思っているんです。どこかで大変な思いをする人だったり、不安を抱えている人がいるっていうのは、今後もこういう場があると。やはり本部自身も、皆さんと一緒に行事とか作り上げていくと思うので、どうぞいろんな意見をこれからも伺いたいなと思いました。

**川中子：** えー、ちょっと時間がだいぶ超過してしまっていて申し訳ございませんが、今日はここで切らせていただいて。この話はとても面白いので、ぜひ継続で、今日の報告を出して、この続きをお話したい方はぜひ集まってくださいって感じでやったらどうかという風に思っています。今日来てくださったのにお話しできなかった方もいらっしゃったので、ぜひ次回もお願いします。

今日は、皆さんのお話を伺って、改めてこういう気持ちで学校を支えていただいていることがわかり、本当に感謝しております。今日は、貴重なご意見を聞かせていただきありがとうございました。

(文責:川中子)

次回、第2回 校長「語らいサロン」  
テーマ『これからのPTA活動について (パート2)』  
令和元年6月22日(土) 9:00-9:45 応接室にて